

ゴミゼロ新聞調査隊が行く

どうしていますか？ 家庭でできる生ごみ処理！

家庭から出る生ごみは、可燃ごみの約4割を占めています。生ごみを堆肥化し、有機肥料として家庭菜園などで再利用すれば、ごみの減量につながります。

そこで、今回は家庭でできる生ごみ処理の方法を紹介します。

生ごみ処理 共通の ポイント

水分がある物は、水切りをする。（一晩置くだけでも水切り効果あり）

大きな物は小さくすると発酵しやすい。

紙やビニール、大きな骨、腐った物はいれない。

できた堆肥は、植物の根に直接触れないように入れる。

ボカシ処理



① 生ごみを密閉できる容器に入れて「ボカシ」をかけ、蓋をする。



② 容器が一杯になるまで、①を繰り返し、一杯になったら1~2週間ねかせる。



③ ②を土に混ぜ込むように埋める。

ポイント

直射日光が当たらない場所に容器を置く。

発酵すると蓋があくことがあるので、蓋をしっかり閉める。

夏は「ボカシ」を多めに入れる。（通常は生ごみ1kgに10gくらい）

液肥は、薄めて肥料などとして利用する。

手作りコンポスト処理（木枠で作ったコンポスト）



① 木や竹で枠を組み、腐葉土と米ぬかを入れ、雨よけをする。枠は2個あるとよい。



② ①に穴を掘り、生ごみと1つかみの米ぬかを入れて埋める。次の生ごみは、別の場所に入れる。（この作業をくり返す）



③ 分解しにくくなったら、腐葉土と米ぬかを追加。枠が一杯になったらねかせておき、別の枠を使って処理する。

ポイント

一杯になったら枠に雨よけをしてねかせておき、次の枠を使って生ごみを処理する。

ねかせた物は、堆肥として利用する。

枠を作れない場合は、ダンボールで代用できる。（ダンボールコンポスト）